









# 部会だより

## ゴルフ

### A) 第7回世田谷三田会・稲門会懇親コンペ

10月10日(水)三田会主催の下、相模原GC東コースで開催されました。朝は曇り空で、やや強い風が吹きましたが、午後からは晴れ間の覗く蒸し暑い天気の中、熱戦が行われました。参加者は三田会より11名、稲門会より14名、合計25名でした。

優勝は稲門会の青木誠司氏(ネット73.4)、準優勝は三田会の織田隆良氏(同73.4)、3位は稲門会の秋田滋氏(75.0)。ベストグロスは三田会の秋山俊洋氏(81)でした。

両会上位5名で競う団体戦は稲門会の5連勝となりました。

来年からは年1回、春季開催することとなり、来春は稲門会主催となります。

### B) 第72回世田谷稲門会コンペ

本年3回目のゴルフ会、第72回世田谷稲門会ゴルフコンペが44名の参加を得て、9月12日(水)富士国際GC富士コースで開催されました。

当日は残暑の厳しい日でしたが、富士山頂には平年より早い初冠雪があり、スタート時にはうっすらと白い山頂が眺められました。上位3名をグランドシニア(75歳以上)の方が独占する結果となりました。お元気な先輩の方々に改めて敬意を表します。

優勝は浜田康夫さん、グランドシニア優勝は広田進さん、シニア優勝は熊谷慶紀さん、レディース優勝は森春野さんとなりました。(工藤 隆司/記)



## カラオケ

月例会毎月第一土曜日午後1時～5時 於:コートダジュール下北沢

□9月1日(土)第66回は厳しい残暑が続くなか15名参加3室で。

□10月6日(土)第67回は暑さも彼岸まで凌ぎやすくなり、12名参加3室で。

□11月3日(土)第68回は秋深し隣の芭蕉もカラオケ?で22名参加4室で。その後、総会を開き、以下の件が承認されました。



①役員体制<退任>相談役 清水明雄(2年間に感謝!)

世話人 西野哲夫

<留任>代表世話人 倉田豊 世話人 薄井好雄

会計 塚脇一帆 監査役 豊田恵之助

②運営方針(平成25年度):クリーン(明朗会計)オープン(要望集約)オーソドックス(稲門会品位)毎月第一土曜日の月例会、新年会(1月中旬)、日帰り温泉旅行(6月)、カラオケ教室(未定)の開催。

③平成24年度収支計算書: 塚脇一帆(作成説明)

④平成24年度監査報告: 豊田恵之助(報告承認)

(倉田 豊/記)

## ウォーキング

10月のウォーキングは爽やかな秋空の下、14日と28日の2回開催されました。

1回目は21名の参加により田園調布駅から宝来公園、多摩川緑地沿いを経て等々力不動と溪谷を散策し、等々力駅まで歩いて解散しました。6キロ、3時間半の行程。

2回目は目黒駅午後1時に集合、武蔵野の面影が色濃く残る広大な自然教育園内の歴史を留める樹木や草花を愛でながらの散策を楽しみ、更にファッションセンス溢れるプラチナ通りを経て恵比須ガーデンプレイスまで歩きました。5キロ、3時間の行程。(江原 利次/記)



## 俳句

10月の句会は定例の第3水曜日17日に桜新町区民集会所にて午後1時半から開催されました。当日の兼題『良夜、中秋の名月のような明るい夜』と季節に相応しい3句を持ち寄り、俳句界の次世代を背負う人と期待されている爽やかな日下野由季先生の指導で句会を楽しみました。なお、11月の兼題は『西の市』です。それでは当日の優秀句を紹介します。



本めくる音のかそけき良夜かな  
柿を干す家々いくつ長寿村  
飼猫の母となりたる良夜かな  
訥々と古語の恋読む良夜かな  
鳳仙花はぜる刹那や人想う  
名月や横切る雲も光りをり

由季(日下野 由季)  
まもる(松尾 守)  
宣子(沼田 宣子)  
勝(田中 勝)  
恵那(榎並 俊一)  
利水(江原 利次)

(江原 利次/記)



## 芸術・芸能鑑賞

「総会・文楽・落語・音楽会など賑やかに」

年1回の総会を9月8日(土)に開催した(13名出席)。平成23年7月から平成24年6月までの「会計報告」と「活動報告」を行った。この期間に20回の鑑賞会案内を行い、延べ265人の参加を記録した。参加人数から見ると、やはり三越落語会がトップで、国立劇場での仁左衛門の歌舞伎、クラシックのアンサンブル of 東京などが底堅い。音楽会は映画音楽に人気。

9月以降では9月21日に「文楽」(29名参加)と「落語」(27名参加)に多数の会員が鑑賞を楽しんだ。9月28日は花田さん出演の「映画音楽」も迫力ある演奏会であった。この後は11月14日に元会員のシャンソンの「池澤美佳コンサート」と11月16日は「三越落語会」を予定している。

(鈴木 宏治/記)

## 釣 り

- 8月31日 納涼会を京橋新世界にて、8名参加で行う。西尾氏の巨大マグロに驚嘆多し。
- 9月18日 羽田沖眞ゴチボート釣り。最高の釣り日和であったが、先週と変わり不漁、4名で7匹。
- 9月29日 間口港利一丸よりワラサ釣り。5名参加。晴天無風の好天気に加え、真鯛、黒鯛、花鯛も釣れ、竿頭17匹久し振りにイナワラ級であったが、好漁。
- 10月13日 門前仲町富士見より新宿稲門会と合流でハゼ天ぶら船。11名参加。最高の秋晴れ無風の釣り日和。木更津港にて釣りと天ぶらを賞味。釣果10~20匹。
- 10月28日 久比里山下丸よりカワハギ釣りに5名参加。寺島氏さすがの15匹竿頭。肝最高の珍味。

今後の予定

11月23日 山下丸よりカワハギ/12月16日 金沢八景野毛屋よりフグ/1月21日 新年会京橋新世界/1月26日 横須賀前田丸よりアジ/2月23日 長井光三丸よりヤリイカ/11月9日 霞ヶ浦小鮒釣り。

(柴田 昇/記)



## 囲碁将棋



1) 囲碁部合宿を10月13日(土)14日(日)に世田谷区老人休養ホーム「ふじみ荘」にて実施し、会員10名が参加し熱戦を繰り広げました。

2) 第7回オール早稲田将棋祭が、9月15日(土)学生会館にて蛸島元女流名人をゲストに迎え、22名の交友参加と現役、OB将棋部員の協力を得て開催されました。世田谷稲門会より守屋寧夫、薄井好夫、飯田保則、柴田昇の4名参加し、飯田氏がBクラスで優勝しました。Aクラス優勝は、練馬の小池聡名五段。

(柴田 昇/記)



## パソコン

7月後半と8月は夏期休暇で休会とし、9月より例会(勉強会)を再開しました。一部会員からの要望により例会の開始直後に「質疑応答コーナー」を設け、身近で困っている方に出席者全員で解答していく事としました。ただし、部会の性格上パソコン操作の基礎(初歩)技術は各自習得済みを前提としています。

9月以降の例会では「ワードで各種イラスト入り『一筆箋』及び『壁新聞』の作成」の学習を行いました。なお、11月開催予定の温泉教室は都合により無期延期といたしました。

(岩城 好宏/記)



## 食べ歩き

平成24年9月18日第53回（本年度第1回）を渋谷駅と表参道駅の中ほどにある「シェ松尾・青山サロン」で開催した。

未だ猛暑が消え去らない中であったが参加者は30名。本年度より交代した世話人等の紹介があった後、乾杯の発声は岩上会長。楽しい会食・懇談の後は岩上会長の音頭による校歌斉唱により閉会した。

なお、当サロンのロビーには皇族をはじめ著名な来客の写真が飾られ、ゴージャスな雰囲気の中でフルコースのフランス料理を味わうことができた。

次回は12月1日：日本橋室町・中国名菜「孫」にて開催予定。

(加藤 隆夫/記)



## 写真

### (1) 実績報告

例会：10時～13時30分 東京農大校友会館 教室（通常は第3木曜日）

1月19日、2月16日、3月15日、4月19日、5月17日、6月21日、9月20日、10月18日、11月15日。

### (2) 今後の予定

例会：8月は従来から休会しています。12月は開催日が変更しています。

従来お休みしていた2月は今年から例会を開くように変えました。

12月13日（第2木曜日）、1月17日、2月21日、3月21日。

今回、世田谷稲門会創立20周年記念誌に会員の「世田谷」の写真に掲載させて頂きました。また創立20周年記念懇親会には「写真部会写真展」を懇親会会場前に展示させて頂きました。写真部会としては世田谷稲門会の皆様に作品の発表が出来る事は大変励みになり感謝します。

(種谷 鴻成/記)

## スポーツ観戦



10月27日(土)秋季早慶1回戦の観戦会を行った。今シーズンは法政大の優勝が決まったものの、23,000人を超す早慶ファンが神宮球場に集結、当会からも20名が参加、熱き声援を送り試合を盛り上げた。試合は早大が初回2点先取したが、2回に慶大は2点を取り追いつき、4回に2点を加えいやなムードになったが、その裏早大は得意の粘りで4点を入れ逆転、以後得意の継投策で逃げ切った。試合後恒例により外苑前の「そばや」で10名が集まり、勝利の美酒を味わい会員相互の懇親を深めた。

(川村 保夫/記)

## 麻雀

一、9月9日(日)秋晴れの正午、祖師谷大蔵駅徒歩3分の麻雀荘「天狗」(以下会場は同一)に24名の善男善女が集まり、腕と口をフル活動させ、恒例の麻雀大会を開催した。試合は、前半から飛び出した脇坂・阿部・橋本の3氏のトップ争いになるものと誰しも思ったが、最終回半チャン51点を叩き出した試合巧者の高橋氏が並み居る上位陣を牛蒡抜きにし、久し振りの優勝を遂げた。

優勝 高橋義幸、準優勝 橋本大道、3位 脇坂元彦、4位 阿部信之、5位 飯田保則、6位 宮木甫

二、10月13日(土)日本晴れの12時、25名の紳士淑女が集い、運と腕を頼りに賜杯争奪戦に血道をあげた。試合は前半から飛ばした脇坂・長谷川・郡山3氏の優勝争いとなり最終回迄纏れ込んだが、最終回にトップを取った郡山氏が久し振りに優勝した。

優勝 郡山弘文、準優勝 長谷川義樹、3位 脇坂元彦、4位 宮木甫、5位 飯田保則

三、11月11日(日)今にも雨が降りそうな曇天の正午、26名の品の良い淑女、紳士が集まり試合に来年の運勢を掛け戦った。試合は前半から快調に飛ばした吉村(善)、河村(卓)、草谷3氏の争いと思われたが、後半に実力を爆発させた阿部氏が上位陣8名を牛蒡抜きにし、久し振りに優勝した。

優勝 阿部信之、準優勝 吉村善智、3位 橋本大道、4位 桃井清治、5位 武田一成、6位 河村卓郎  
(下谷内 堯/記)



## ブロック会だより

### 西北会

本年9月28日(金)18時より参宮橋の新日鐵代々木倶楽部にて第26回西北会例会が開催された。今回は“稲門会員募集中”の中で新入会員4名が急遽参加され27名と多くの会員が集まり、楽しい懇親交流の例会が始まった。メインのスピーチは26年理工卒の小倉康弘氏が担当。演題は「体験からもらった体力」。氏はひょうきんな人柄と共に自他共に認める頑健な体力の持ち主で、これは戦時中の様々な苦勞、体験から得たものだという。そういう経緯を淡々と語られた。その後開宴となり、途端にあちこちで話の輪が広がり、世相の話や身近な話題などで話は尽きることがない。新入会員も同じ学校で学んだという気安さからか、みんなに溶け込むのに殆ど時間がかからず和氣藹々の様子。会員相互の懇親交流を一層深めることができました。

なお、今後の予定としては12月18日(火)第27回西北会例会(演題は『新春箱根駅伝大予測(赤羽根邦雄氏)』)、12月19日(水)西北ゴルフ会(日高C C)を予定。

また、新年に入ってサポーター会を中心に北澤八幡神社への初詣を例年通り実施予定。

(桃井 清治/記)



### キャロット

8月5日午後6時より、キャロットタワー3階の生活工房で世話人会を開催、6名出席して世田谷稲門会新入会員勧誘活動の会議を開催。6名の配布ブロック割当てとポスティングによる勧誘を行うことを決定、64名に実施。

8月30日午後6時より、同所において世話人会5名出席して会議を開催。再度ポスティングした64名及び郵送にて勧誘した3名に確認の葉書を送ることを決定、又、新規138名に勧誘の葉書送付を決定、実施しました。

12月9日(日)にキャロット会の忘年会を開催し、今期のメをします。

(富塚 兆弥/記)

### ちとせ

#### 秋の懇親会開催

今年2回目の千歳会の懇親会を10月13日(土)午後5時30分から、イタリアレストラン「アルターナ」(京王線千歳烏山)で開催した。会員20名とゲスト3名の計23名の参会者で出席率の良さは継続できた。ゲストは井澤幹事長、横田副会長、さくら会の佐々幹事にお越しを頂いた。司会進行は世話人の鈴木が担当し、井澤幹事長に挨拶及び乾杯の音頭を御願いし、横田副会長と佐々さんから挨拶を頂いた。又、新入会員の後藤保則さん、辻哲さん、利光克孝さんの3人に自己紹介を御願いした。今回は直ぐ後に控えるビッグイベントである[世田谷稲門会創立20周年記念懇親会](11月17日)と「稲門祭」(10月21日)への参加を司会から強く御願いした。更に新規に制度発足の「準会員制度」の説明と入会を強く促した。

今回は会員の篠崎章子さんに卓話を御願いし「介護と福祉」の実態をお話頂いた。篠崎さんは区の福祉課長を経験され、現場での問題点を指摘された。有意義な考えさせられることが多い問題提起となった。

楽しい2時間の懇親のあとに戸田幹事の指揮で母校校歌「都の西北」を歌いお開きとした。その後、2次会としてカラオケには14名参加して熱唱を繰り広げた。

(鈴木 宏治/記)

### きぬた

きぬた会の本年度活動は、7月の第2回に引き続き第3回目を11月に開催する予定であったが、本部の20周年行事と重複すること等の事情もあり、延期することとした。10月31日の幹事会で、会員増強活動による新会員との懇親会を12月9日に開催することとし、会場の予約・新会員への案内状の発送を行った。延期した第3回懇親会は来年3月17日に、NHK青山荘で開催する予定である。

(高橋 毅/記)



# け や き

世田谷区のほぼ中央北側のブロック会、けやき会では、年に4回の懇親会を行っています。会員数はこれまでほぼ80名程度で推移しています。

この秋も、10月27日(土)に今年度3回目の懇親会・新入会員歓迎会を行いました。

世田谷稲門会20周年の会員増員の活動の成果として、この時点で新しく入会された3名のかたと、これから入会される予定の2名のかたも迎えて19名、本部から横田副会長、この日講話をしていただいた講師の先生も含め総勢21名で和やかにお話が弾みました。お店はご近所でもお魚がおいしいと評判の居酒屋さん、自己紹介や各趣味の会の活動紹介、校歌斉唱してお開きとなりました。

(井上 文/記)



# 玉 川

8月19日(日)有志10名で多摩川クリーン作戦に参加しました。世田谷区たまがわ花火大会翌日に行われるボランティア活動で、花火のあとのゴミ拾いです。



玉川会は平成20年より参加しています。朝8時二子玉川駅近くの兵庫島に集合、夏の太陽が照りつける中、清掃活動を行い、今年は例年よりゴミが少なかったこともあって9時過ぎには作業を終え、支給された飲み物で喉を潤した後散会しました。

9月1日(土)カラオケを楽しむ会を開催しました。12時過ぎから自由が丘の土風炉で昼食会を開催、和気藹々の中、飲み物で喉をなめらかにした後コート・ダジュールに場所を変え、カラオケが始まりました。参加者13名(内夫人2名)と今迄に無い盛況でしたが、それでも3時間強の間1人平均4曲を熱唱し、大いに盛り上がり楽しい時間を過ごしました。

(太田 隆/記)

## 事務局だより

事務局の業務は例年、稲門祭の記念品販売・準備から記念品の送付、稲門祭実行、入退会対応等の恒例行事が有りますが、今年の業務として大きいのは、やはり会員増強活動と準会員制度の発足でしょう。

会員増強活動は本年7月の幹事会で、本年度中に会員数550名(80名の会員増加)目標という方針が決定しました。7月21日に全7ブロックの代表者の方にお集まり頂き、事務局長から趣旨をご説明するとともに、会長・幹事長から各ブロックのご尽力をお願いしました。

事務局としては『世田谷稲門会活動のご紹介』として、総会や懇親会等の全体イベントと、世田谷稲門会活動の中心となる各ブロック会・部会のご紹介をまとめました。「世田谷稲門会は、こんな楽しい活動をしているですよ」ということをアピールしたつもりですが、些少なりとも会員増強活動のお役に立てたでしょうか。

その後各ブロック会を中心に増強活動を進めて頂いた結果、

ブロックにより差はあるものの、全体で見ますと11月11日現在、46名の新入会員の皆様を迎えることが出来ました。

準会員制度はまだスタートしたばかりですので、これからじっくり浸透させて、世田谷稲門会の良さを感じて頂いた奥様方に御入会頂ければと思っています。

これからの課題としては、目標に向けて更に会員数を増やすことも大事ですが、一番重要な事は言うまでもなく、新入会員の皆様に、「世田谷稲門会に入って良かった。全体の集りやブロック会・部会活動への参加が楽しい」と感じて頂けることだと思えます。

これからも「愛される世田谷稲門会」を目指して活動を進めて行きます。

(林 馨/記)

## 編集後記

51号より幹事として編集取り纏めを担当させていただきました。

ベテランの編集委員の方々 に助けていただき、より楽しい紙面作りを心がけます。

(榎並 俊一/記)